

水を大切さや生命の大切さ、社会環境保全の普及等の活動支援のために2002年から事業を開催しております。

この度、20周年を記念して「SDGs大賞」を中高校生の活動支援のために創設いたしました。

「ざぶん賞」についても、コロナ間の休止を経て、今年度の募集を開始いたしますので以下ご案内申し上げます。

関係各所の皆様にご案内いただけましたら幸いに存じます。

応募要項・詳細は下記URLよりご覧ください。

「ざぶん賞」第1次審査応募締め切り 2022年9月10日(水) **11月10日(木)に延長しました!**



<https://zabun.jp/zabun/>

「ざぶんSDGs賞」締め切り 2023年1月22日



<https://zabun.jp/sdgs/>

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

ご不明な点がございましたら、このメールの返信にてお問合せくださいませ。  
どうぞよろしくお願いいたします。

一般財団法人 ざぶん環境・文化プロジェクト

E-mail [info@zabun.jp](mailto:info@zabun.jp)

〒924-0053 白山市水澄町429番1 一般財団法人ざぶん環境・文化プロジェクト

ざぶん財団・デジタル事務局 [info@zabun.jp](mailto:info@zabun.jp)

〒321-3301 栃木県芳賀町給部17-2

空・環境芸術研究室 [xiang.kaku.hayashi@gmail.com](mailto:xiang.kaku.hayashi@gmail.com)

## 大臣賞申請書より抜粋

名 称 「ざぶん賞 SDG s 大賞」(第 2 回) および「ざぶん賞 2022」(第 20 回)

目 的 一般財団法人ざぶん環境・文化プロジェクトは環境社会教育事業を行うことが定款で定められております。20 周年を記念して「ざぶん SDG s 大賞」を新設。中高校生が持続して取り組んできた SDG s 活動に光を当て、コロナ禍の中で分断され、孤立、貧困・格差・人権・地域・自然の問題がより深刻になっている中で、子どもたちがどのように立ち向い、問題定義から解決しそして持続性ある活動になっているかに焦点を当てることにより、小さな未来に繋ぐ企画として、豊かな人材育成、地域活性化に繋げていくことが目的です。より一層子どもたちに寄り添う大切さを広めることを目指します。

コロナ禍の中で、社会環境・教育環境・家庭環境が大きく変化し、子どもたちの貧困・格差・孤立など、より深刻になっている子ども達に寄り添い、水のように沁み入り、一人も取りこぼさないことが目的です。

### 事業内容

**事業 1、(継続事業)** 「ざぶん賞」は小中学生対象です。水と生命の大切さについて書いた作文を募集し、アーティストが子どもたちの文章を作品化する事業です。

**事業 2、(20 周年記念事業)** 「ざぶん SDG s 大賞」は中高校生が対象です。中高校生から長年取り組んできた活動、これからも持続可能な活動、そして 2030 年までの達成目的を企画実行する活動等を表彰する事業、出来るだけ多くの活動をつづけ、地域活性化にもつながる中高校生の取り組みを汲み取っていきます。長年続けてきた活動、未来を創出する活動、地域に根差した活動などに対して、表彰、応援する事業です。

2021 年度の試験的な開催から以下の 5 部門に分類します。

- ①ざぶん児童憲章 SDG s 賞 ②ざぶん地域文化 SDG s 賞  
③ざぶん環境 SDG s 賞 ④ざぶん国際 SDG s 賞 ⑤ざぶん Glocal SDG s 賞

### 募集対象者

事業 1、ざぶん賞・・・小中学生

事業 2、ざぶん SDG s 大賞・・・中高校生

ただし、学校単位のみならず、児童養護施設、児童館・図書館・居場所など広く対象とします。

### 内 容

一般財団法人ざぶん環境・文化プロジェクトは環境社会教育事業を行うことが定款(第 4 条)で定められております。

本事業は、小中学生・高校生の段階から、生命の源であり、我が国の大切な資源である海や水により関心を持ち、安全や環境保全に関する知識と、命や自然を大切に作る行動意識を高めてもらう、社会・環境教育を目的として

おり、同時にその結果や関連事業を通じ、保護者や一般の方々も同じく関心を高めてもらうことをねらいとしています。

また、海や川には県境がなく、海域での国際紛争の顕在化など諸問題も広範囲に及びます。事業を実施するにあたり、単独県の関係団体や自治体だけの活動では、効果が乏しく、県や地域を越えた賛同者の活動により事業を発展、継続させることが重要と考えています。なお、20周年を記念して、このたび、新しい取り組みを行うことになりました。コロナ禍で、分断され、孤立化が叫ばれる中、より一層子どもたちに寄り添うことの大切さを痛感しております。豊かな人材育成に繋がればと念願を込め試験的に始めました。

## ざぶん賞 2022（第 20 回）事業計画書

### 1. 作文募集事業

- ・応募対象 全国の小中学生
- ・作文テーマ 生命のみなもとである、水に関係した内容の作文・童話・詩・手紙。
- ・字数制限 未発表の作品で、1200 字以内に。
- ・締め切り（変更点） 第一回春夏テーマ ~~9月11日~~、第二回秋冬テーマ 1月 22 日  
11月10日(木)
- ・賞など、ざぶん大賞 1 作品・準ざぶん賞・ざぶん環境賞・ざぶん文化賞・  
文部科学大臣賞・国土交通大臣賞・環境大臣賞・水産庁長官賞・・・下付決定
- ・海上保安庁長官賞予定
- ・提出用フォーマットに記載し、メールにて提出・基本ペーパーレスを取り組む
- ・募集要項ダウンロードは QR コードより行う。学校ごとのエントリーを予定。
- ・地区選考を行い、選抜された作文を約 100 点で最終選考。約 30~40 点をアート化予定。
- ・地区ごとのアーティストによるアート作品化を行う。なお、大臣賞、ざぶん大賞、ざぶん  
準大賞、特別賞の選考作品は別に作品化を予定。
- ・選考は、教育関係者、栃木県子ども総合科学館館長、メディア、来場者投票（2 回目より  
検討）、最終選考監修は、檀太郎氏・檀晴子氏。石田エミール（案）を予定。10 名で行う。
- ・最終選考はオンラインも含めて、デジタル化で取り組む。
- ・選考結果は 11 月末日発表（ざぶん HP にて）
- ・参加費は無料。

### 2. 関連事業、すべて参加費は無料

- ・HP にて発表、デジタル展示会を年間通じて公開を検討。
- ・ざぶん SDG s 賞と共に展示会を開催。コロナ事情を踏まえ新規デジタル化を活用。

### 3. スケジュール

- ・広報・関連事業
  - ・QR コードのダウンロード、HP より応募。7月発表。
  - ・全国コンテストオンラインなどの公募雑誌
  - ・教育委員会より各学校へ案内。（学校側の働き方改革により）
  - ・関連事業開催 ざぶんSDG s 賞とざぶん賞関連・通年
- ・選考会・展示
  - ・応募締め切り 年二回、選考は秋冬分は次年度の選考に含む。  
9月11日と1月22日（毎年同じ日にする。）
- ・発表・表彰
  - ・2023年2月15日~25日まで栃木県子ども総合科学館にて  
「ざぶん賞&SDG s 大賞」開催
  - ・表彰状授与&アート作品副賞
  - ・表彰状を2月初旬に用意予定。
- ・デジタル化による変更点は想定の域内であり、丁寧にフレキシブルに最善の対処。



# ざぶん賞

## ざぶん賞作品募集

環境と生命の大切さについて20年以上前から取り組んできた「ざぶん」。今、形を変えて再び始動します。生命のみなもとである「水」に関する作文・童話・詩・手紙などを多くの子供達から募集し、審査表彰します。副賞として、受賞された子供達の作品にプロのアーティストが挿絵を入れ、インターネット上で展示し、原画は受賞者に郵送プレゼントされます。

### 募集と表彰の対象者

全国の小中学生（参加費は無料）

### 作品テーマ

生命のみなもとである、水に関係した内容の作文・童話・詩・手紙未発表の作品で、1200字以内に。

### 締め切り

<第1回春夏テーマ> 9月11日(日) <第2回秋冬テーマ> 1月22日(日)  
**11月10日(木)に延長しました!**

### 賞

ざぶん大賞1作品・準ざぶん賞・ざぶん環境賞・ざぶん文化賞・  
文部科学大臣賞・国土交通大臣賞・環境大臣賞・水産庁長官賞・(海上保安庁長官賞、申請中)

### 募集要項

提出用フォーマットに記載し、「ざぶん賞」応募特設ページで詳細をご確認の上、メールにてご応募下さい。 **(注) 郵送での受付は致しません。**

- ・募集要項ダウンロードはQRコードをご利用下さい。
- ・地区選考を行い、選抜された作文を約100点で最終選考。約30~40点をアート化予定。
- 受賞作品は、「ざぶん」ホームページ上で展示。



### 選考

教育関係者、各界有識者

### 過去の「ざぶん賞」表彰作品

